

第2回学術大会を終えて

大会実行委員長

大前 哲彦

私たちは色々な学問領域から馳せ参じるかたちで日本における音楽療法学の構築をめざしています。そのため、やりたいことは山ほどあります。幸い第2回学術大会の準備をまかされ、色々な思いを盛りこみ、多くの実験をさせてもらいました。日本における音楽療法学を創造していく舞台になる大会、そして実践家に敷居の高さを感じさせない大会をめざしました。

実行委員会内でもイメージの共有からはじめましたが、各人の夢が混在していますから、それだけ準備作業は増えることとなります。しかし、実に良くやっていただきました。そして、全国の皆さんからも暖かい共感が寄せられました。何とか成功裏に終えることができましたのも、全国の会員各位の絶大なご協力のお陰であると深く感謝申し上げます。

日本の文化土壌に根ざした音楽療法を大会テーマに掲げ、シンポと全体会での研究発表を企画したのが第一の総括点です。学会としての研究課題をうかびあがらせ、会員の間で共有することをめざしたわけですが、主催者としては、導入としての尺八演奏から河合隼雄氏の記念講演「音と心」まで、主観的には企画が成功したと考えています。

また、国家資格化をめざす学会として音楽療法のEvidenceを蓄積していく大切さを確認し合えたことも良かったと考えています。それは、森忠三氏の大会長講演と参加者の反応でも示されました。また、学会の学術研究委員会から奨励研究費を受けた9人の中間報

告会でも見て取れました。

一つの反省点は、研究発表要旨集に印刷ミスがでたことです。読みやすく美しい要旨集を考えた結果ですが、形にとらわれて大会準備の一番大切なところでのミスでした。フロッピーディスクでの原稿提出を求める方式でしたが、印刷過程の作業ミスという原因が特定できましたので方式の誤りではなかったと総括しています。5月末日までに印刷ミスの報告を求め、正誤表を作成して学会HPに掲載すると共に、残部数には挟み込むことにしました。お気づきの印刷ミスを実行委員会事務局(jmtak@guitar.ocn.ne.jp)まで報告してください。

最後になりましたが、会場を提供してくださった武庫川女子大学の各位に会場整備や機器の準備など人的にも多くのご支援をいただいたことを明記し、感謝の言葉に替えさせていただきます。



■ 日本音楽療法学会 音楽療法士（補）試験実施要項（抜粋） ■

わが国においては1997年に全日本音楽療法連盟の資格認定制度が開始されました。当時、音楽療法士養成課程を有する学校はきわめて少数であり、当然ながら試験制度は採択されませんでした。代わりに、現在にいたるまで臨床的経験を重要視した暫定的な処置による音楽療法士認定がなされてきた経緯があります。

しかし同連盟は暫定的な認定制度と並行して1996年に大学や専門学校での教育へのガイドラインとして音楽療法士養成カリキュラム96を制定しています（現在は改訂されたカリキュラム01が制定されています）。その後、幾つかの大学、専門学校などにおいてこのガイドラインを基本にした音楽療法士養成コースが設置され、近年になりそれらのコースの卒業生が誕生するようになりました。

これらの卒業生は学会が定めたカリキュラムに基づいて教育訓練を受けた者であり、これらの教育を受けていない者と

は異なる基準で資格認定が行われなくてはならないはずで

す。以上の経緯により、学会により教育カリキュラムの審査を受け承認された大学や専門学校の音楽療法コースの卒業生を対象に音楽療法士（補）認定試験が2000年度より実施されることとなりました。

この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適性を確かめる目的で行なわれます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）の資格を得ることができます。この資格は、本人の音楽療法活動の臨床経験が3年をこえる時点で改めて学会に申請すれば（臨床事例報告審査と面接を経て）正式に音楽療法士として認定されます。

1. 試験の日時および会場：《2003年度は→2004年1月12日、日本教育会館》
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン01に含まれている教科全般とする。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの卒業生。^{*（1）}
4. 受験手続：
 - （ア）本学会事務局への受験申請を行なう。なお記入に際しては戸籍に記載されている氏名を使用する。
 - （イ）事前に受験手数料1万円を日本音楽療法学会に振り込む。
 - （ウ）申請には①受験申請書（学会より在学の教育機関に送付されている）、受験票送付用の②返信用封筒（長形3号サイズ、自分の宛先を記入し、90円切手を貼付）、③単位取得証明書および④振込控のコピーを同封のうえ日本音楽療法学会へ送付する。
 - （エ）受験時には受験票と本人の写真の付いた証明書（学生証、運転免許証など）を持参する。
5. 試験はマークシートを用いて多肢選択形式で合計150問（試験時間は合計3時間）
受験票、筆記用具（柔らかめの鉛筆と消しゴム）および時計のみ卓上に置くことができる。
6. 受験申込期間 《2003年11月13日（木）～11月28日（金）までに学会事務局へ必着》
7. 合格者の発表 《2004年2月1日（審査結果は受験者本人に文書にて通知）》

*（1）2002年度認定校（2003年3月以降の卒業生が対象）

昭和音楽大学	聖徳大学	洗足学園大学	同志社女子大学
名古屋芸術大学	江原音楽療法専門学校	東京国際音楽療法専門学校	清水女子大学新戸町キャンパス
金城学院大学	日本大学芸術学部	東海大学	東京心理音楽療法福祉専門学校
東邦音楽大学	くらしき作陽大学	国立音楽院	

■ 2003年度日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

教育・研修委員会

2003年度学会主催の研修講習会の概要が決まりましたのでお知らせいたします。今年度は、講習会に3つの特色を盛り込みました。第1に、多くの会員が取り組んでいる「高齢者」を全体のテーマにする。第2に、実際の高齢者ケースを取り上げディスカッションを行う。第3に、最近の音楽療法および関連領域の話題を紹介する、などです。各自振るってご参加ください。なお、受講申し込みについての総合案内は5月中に会員の皆様にお送りする予定です。

第1回 研修・講習会

- 目的：会員の研修、認定資格の取得・更新
- 日時：2003年9月20日（土）、21日（日）
- 会場：日本教育会館一ツ橋ホール（地下鉄神保町駅徒歩3～5分、竹橋駅徒歩5分）
- 実施方法：大会場での講演方式
レポート提出
- 概要（仮題）：
 1. 臨床現場での情報の取りかた
 2. 対象者に合わせた音楽の使いかた（特に高齢者）
 3. 各国の音楽療法事情
 4. 症例検討（2例を予定）
 5. NBMと間主観的アプローチ

■ 2003年度日本音楽療法学会プロジェクト研究の募集 ■

学術・研究委員会

日本音楽療法学会では2002年度より、音楽療法に関わる学術研究を振興するためプロジェクト研究を行っております。2003年度も引き続き下記の要領で研究を行うことになりました。

つきましては、障害、疾病、予防医学などの領域における音楽療法の研究を公募し、採択された研究には助成金を交付します。

- 1) 応募〆切：2003年8月31日
- 2) 研究領域
 - ①実験研究
 - ②臨床研究
 - ③症例研究
 - ④その他
- 3) 応募方法
所定の研究計画書を事務局に申請し、必要事項を記入のうえ提出してください。
なお、助成金は一研究につき上限100万円とし、会計報告を必要とします。
- 4) 審査方法
「プロジェクト研究委員会」にて審査し、理事会で採択を決定します。
- 5) 研究報告
採択された研究は、2003年度大会で中間報告し、2004年度大会で最終報告します。
さらに2005年度中に本学会誌へ投稿することが義務付けられます。
- 6) 留意事項
研究遂行にあたっては、科学的実証性を重視し、かつ本学会の倫理綱領を遵守してください。
研究計画書にコピー3部を添えて提出してください。

〈申請・応募先〉

* 研究計画書様式はA4サイズの返信用封筒に宛て先を記入して200円切手を貼り、日本音楽療法学会事務局へ請求ください。

■ 2003年度資格審査、資格更新審査のお知らせ

資格審査

- 第8回の資格審査のための申請受付期間は、2003年10月1日～10月15日です。
 - * 15日（水）必着
- 必ず日本音楽療法学会版の申請書（認定規則）を取り寄せて申請してください。
 - * 申請書（認定規則）の取り寄せ方法
270円切手を貼った返信用封筒（A4サイズ、必ず宛先を書いてください）と500円の定額為替を同封して、事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）
 - * 書類審査結果は11月下旬に通知します。なお、合格者には面接試験（12月13日（土）・12月14日（日）いずれか1日、会場は東京）の案内が同封されます。

資格更新審査

- 今回は第3回認定者が対象となります。
- 第3回の資格更新審査のための申請受付期間は、2003年10月16日～10月31日です。
 - * 31日（金）必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りする申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は上記、認定規則と同じ方法でお取り寄せください。

いずれの審査結果も2004年2月初旬に通知されることになりました。

また、昨年度から証明書類は現物とコピーの提出となりましたのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた封筒（A4サイズ）を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にて確認ください。なお、配達記録にて返却しますので通常料金に210円加算して切手を貼付してください。

なお、各規則の内容に関するご質問は、事務局では判断しかねますのでご遠慮ください。

学会事務局からのお知らせ

■ 会費（年会費）納入のお願い

2003年新年度が始まりました。年会費は別便にて郵送しました専用の振替用紙にてお納めいただきますようお願いいたします。2002年度分未納の方は5月31日までにお納めください。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口

振込先 郵便振替口座 ○ 加入者名：日本音楽療法学会
○ 口座番号：00120-9-657711

■ 会員名簿の発行について

今秋会員名簿を発行いたします。掲載内容は氏名、住所、電話、掲載住所の区別（自宅・勤務先）です。住所および電話の掲載を希望されない方、届け出の内容に変更のある方は5月31日までにFAXまたは郵便にて（電話は不可）事務局へ連絡ください。

■ カリキュラムガイドライン01の取り寄せについて

120円切手を貼った返信用封筒（B5サイズ、必ず宛先を書いてください）を同封して、事務局へお申し込みください。

■ 音楽療法推進議員連盟の設立について

2003年4月21日に参議院会館の特別会議室において超党派、衆参国会議員における「音楽療法推進議員連盟」の設立総会が開催されました。会長に斎藤十郎参議院議員、事務局長に沢たまき参議院議員がそれぞれ就任されました。これは心身医学の研究開発ならびに音楽療法に関する法整備と普及拡大を目的として設立されたものです。今後「身分法」の制定に向け大きく前進することが期待されます。

席上、日野原 重明理事長がスピーチをされ出席各位に音楽療法について造詣を深めていただきました。篠田知璋常任理事、村井靖児常任理事、越智和雄事務局長が同席致しました。

■ 支部情報 ■

《北海道支部》第1回研修会（報告）

開催日：2002年10月6日

開催場所：北海道医療大学サテライトキャンパス大講堂

第2回研修会（報告）

開催日：2002年12月21日

開催場所：かでの27

※2002年度は2度開催されました。

第3回支部総会・研修会

開催日：2003年5月31日 13:00~17:00

開催場所：北海道医療大学サテライトキャンパス大講堂

問い合わせ先

日本音楽療法学会北海道支部事務局

新住所：〒064-0916 札幌市中央区南16条西7丁目1-7-406 北海道医療大学 久村研究室内

TEL FAX 011-520-2605

《東北支部》第3回東北支部学術大会

開催日：2003年9月6、7日

開催場所：仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 宮城学院女子大学

問い合わせ先

宮城学院女子大学音楽学科 遠藤安彦研究室 大会実行委員会事務局 担当：須佐涼子

FAX 022-277-8371 E-mail susa88jp@yahoo.co.jp iwork@cream.plala.or.jp

《関東支部》第2回関東支部地方会・講習会

開催日：2003年10月24、25日

開催場所：横浜国際ホテル

問い合わせ先

横浜相原病院 担当：野本義則

TEL 045-362-7111 FAX 045-362-7306

《信越・北陸支部》信越・北陸支部総会・学術集会

開催日：2003年5月25日

開催場所：新潟大学医学部有壬記念館

問い合わせ先

新潟医療福祉大学医療技術学部作業療法学科 櫻井研究室

TEL FAX 025-254-4456

《東海支部》東海支部総会・研修会

開催日：2004年3月13日

開催場所：名古屋芸術大学

問い合わせ先

東海支部事務局 三重県度会郡玉城町長更409

TEL FAX 0596-58-2608

《近畿支部》第3回近畿支部学術大会

開催日：2004年9月6、7日

開催場所：大阪音楽大学（阪急宝塚線、庄内駅 徒歩7分）

問い合わせ先

大阪音楽大学内 近畿支部事務局 豊中市庄内幸町1-1-8

TEL 06-6445-1399 FAX 06-6333-0286 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp

《中国支部》第1回講習会

開催日：2003年5月25日

開催場所：川崎医療福祉大学 大講義室（2601）

問い合わせ先

日本音楽療法学会中国支部 岡山県倉敷市松島288 川崎医療福祉大学 保野研究室内

TEL FAX 086-463-9060 E-mail jmta-cc@mw.kawasaki-m.ac.jp

H.P. <http://shuttle.kawasaki-m.ac.jp/jmta-cc/>

第3回中国支部総会・学術大会

開催日：2003年8月2日、3日

開催場所：島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ（JR松江駅より徒歩30秒）

問い合わせ先

第3回日本音楽療法学会 中国支部総会・学術大会実行委員会事務局

島根県松江市菅田町136-20 武田千代美方

TEL FAX 0852-27-0893 E-mail s_c_h_takeda@ybb.ne.jp

H.P. <http://shuttle.kawasaki-m.ac.jp/jmta-cc/>

《九州・沖縄支部》2003年度講習・研修会

開催日：2003年7月5、6日

開催場所：くまもと県民交流会館パレオ（鶴屋東館9F会議室1）

問い合わせ先

熊本大学文学部人間科学学科 木村研究室 熊本市黒髪2-40-1

TEL FAX 096-342-2850